

高等学校 令和7年度 教科

国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：(1組：本木) (2組：森) (3組：本木) (4組：森) (5組：本木) (6組：森) (7組：本木)

使用教科書：(精選 文学国語(三省堂))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語	書	読					
単元 〈執着〉する心を捉える。 「山月記」 【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品を読むことを通して新たに形成した自分の考えを、それまでの自分の考えや他の読み手の考えと比較しながら、その共通点と相違点を整理し広げたり深めたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 語彙を豊かにし、テキストの読みを深めるとともに、創作することで言葉の価値に気づくようにする。	1 小説の基本的な内容(人物、物語、構成、語句)を読み取り、確認する。 2 小説についての疑問、よい表現、自分や他作品との関連性、などについて考えを共有したり深めたりする。 3 テキストを踏まえ、「変身」をモチーフとし、「詩歌」を入れ込んだ小説を創作する。	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章の特徴や表現技法について、体系的に理解し使ったり、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1
単元 文学の世界を覗く。 「ひよこの眼」 【知識及び技能】 我が国の言語文化 ア 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 カ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 キ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 テキストや書籍を読み、作品や読書の価値に気づくこと。	1 登場人物の心情がどのようなものであるのかを文章内から見つけ出して考える。 2 題名が「ひよこの眼」である理由を考える。 3 作品内で扱われる「死」というものについて、文章内の言葉でまとめる。 4 テキストに関連したテーマを自分で設定し、考察をまとめる。	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めたり、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。				6
単元 文学とは何か探る。 「文学の仕事」 【知識及び技能】 我が国の言語文化 ア 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 読む オ 作品に表れているものの見	1 「文学の力」とは何か、自分の考えや体験と本文を勘案しながらまとめる。 2 好きな文学作品を選んで読み、書評を書き、相互評価によって文章をより向上させる。 3 有意義なフィードバックの仕方を確認する。				【知識及び技能】 ・評論的な文章における文体の特徴や表現の技法について、体系的に理解し使おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々なテキストにふれる中で得た知識や技能を元に、文章の構成や展開を工夫すること				

	<p>力、感情、思考力、人間性等】 文学の価値を認識するとともに、文学そのものの意義について考えを持てるようにする。</p>				<p>能を元に、文章の構成、展開を土台にするこ に向けた粘り強い取り組みを行う中で、自ら の学習を調整しようとしている。</p>				8	
	定期考査								○ ○	1
2 学 期	<p>単元 叙述から心情を想像する。 「こころ」上・中</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ウ 文学的な文章やそれに関する 文章の種類や特徴などについて理 解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読む オ 作品に表れているものの見 方、感じ方、考え方を捉えるとと もに、作品が成立した背景や他の 作品などとの関係を踏まえ、作品 の解釈を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テキストと自分、他の人の読みな どを往還させながら、自分なりの 読みの可能性を広げていく。</p>	<p>1 小説の内容や主題、表現や構 造について、叙述を元にしながら まとめる。 2 他の人の考えや他の関連する 文献なども参照しながら、自分の 読みを作っていく。 3 交流活動を通して互いの成果 を共有する。</p>			<p>【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や 特徴などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考 え方を捉えるとともに、作品が成立した背景 や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解 釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や 特徴などについて理解を深めたり、作品に表 れているものの見方、感じ方、考え方を捉え るとともに、作品が成立した背景や他の作品 などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深め たりすることに向けた粘り強い取り組みを行う 中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>				○ ○ ○	16
	定期考査								○ ○	1
	<p>単元 叙述から心情を想像する 「こころ」下</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ウ 文学的な文章やそれに関する 文章の種類や特徴などについて理 解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読む オ 作品に表れているものの見 方、感じ方、考え方を捉えるとと もに、作品が成立した背景や他の 作品などとの関係を踏まえ、作品 の解釈を深めること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 テキストと自分、他の人の読みな どを往還させながら、自分なりの 読みの可能性を広げていく。</p>	<p>1 小説の内容や主題、表現や構 造について、叙述を元にしながら まとめる。 2 他の人の考えや他の関連する 文献なども参照しながら、自分の 読みを作っていく。 3 交流活動を通して互いの成果 を共有する。</p>			<p>【知識及び技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や 特徴などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考 え方を捉えるとともに、作品が成立した背景 や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解 釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や 特徴などについて理解を深めたり、作品に表 れているものの見方、感じ方、考え方を捉え るとともに、作品が成立した背景や他の作品 などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深め たりすることに向けた粘り強い取り組みを行う 中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>				○ ○ ○	8
	定期考査								○ ○	1
3 学 期	<p>単元 文学作品から視点を広げる 「小説はどう読めばいいのか？」 -太宰治『斜陽』の語り口</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 イ 情景の豊かさや心情の機微を 表す語句の量を増し、文章の中で 使うことを通して、語感を磨き語 彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 書く エ 文章の構成や展開、表現の仕 方などについて、伝えたいことや 感じてもらいたいことが伝わるよ うに書かれているかなどを吟味し て、文章全体を整えたり、読み手 からの助言などを踏まえて、自分 の文章の特長や課題を捉え直した りすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相互評価によって、自分たちの文 章をよりよいものになろうとす る</p>	<p>1 教科書を読み、書評の書き方や 留意点について知る。 2 『斜陽』に関する書評を書き、 相互評価によって文章をより向上 させる。 3 有意義なフィードバックの仕方 を確認する。</p>			<p>【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量 を増し、文章の中で使うことを通して、語感 を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成や展開、表現の仕方などにつ いて、伝えたいことや感じてもらいたいこと が伝わるように書かれているかなどを吟味し て、文章全体を整えたり、読み手からの助言 などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を 捉え直したりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量 を増し、文章の中で使うことを通して、語感 を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や展 開、表現の仕方などについて、伝えたいこと や感じてもらいたいことが伝わるように書か れているかなどを吟味して、文章全体を整え たり、読み手からの助言などを踏まえて、自 分の文章の特長や課題を捉え直したりするこ とに向けた粘り強い取り組みを行う中で、自 らの学習を調整しようとしている。</p>				○ ○ ○	15
	定期考査								○ ○	1
									○ ○	合計 70